

特別管理産業廃棄物処理計画書

2020年6月24日

大阪府知事 様

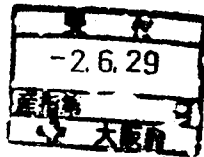
提出者

住 所 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4-41

氏 名 一般財団法人 日本食品分析センター
彩都研究所
研究所長 吉田 員則

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-641-8950



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	一般財団法人日本食品分析センター 彩都研究所
事業場の所在地	大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4-41
計画期間	2019年4月1日～2020年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	71：学術・開発研究機関
② 事業の規模	7,402㎡
③ 従業員数	200人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)	
別紙の通り	
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
【前年度(令和元年度)実績】	
特別管理産業廃棄物の種類 排出量	①引火性廃油 68,052 t
	②引火性廃油(有害) 0.018 t
①現状 (これまでに実施した取組) ・分析工程の改良による廃液量の減量化実施。	③強酸 14,752 t
	④強アルカリ 6,192 t
	⑤廃酸(有害) 0.300 t
	⑥感染性廃棄物 0.160 t
	⑦汚泥(有害) 0.001 t
	⑧廃油(有害) 0.649 t
【目標】	
特別管理産業廃棄物の種類 排出量	①引火性廃油 64,650 t
	②引火性廃油(有害) 0.017 t
②計画 (今後実施する予定の取組) ・引き続き、廃液を減量化できる分析工程を検討していく。	③強酸 14,014 t
	④強アルカリ 5,882 t
	⑤廃酸(有害) 0.285 t
	⑥感染性廃棄物 0.152 t
	⑦汚泥(有害) 0.001 t
	⑧廃油(有害) 0.617 t
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
①現状	・ 廃液の種類に応じて分別保管している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 引き続き分別保管を徹底する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項									
【前年度（令和元年度）実績】									
特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②引火性廃油(有害)	③強酸	④強アルカリ	⑤廃酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦汚泥(有害)	⑧廃油(有害)	⑨廃油(有害)
①現状	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
①現状 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量（これまでに実施した取組） ・実施していない。									
【目標】									
特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②引火性廃油(有害)	③強酸	④強アルカリ	⑤廃酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦汚泥(有害)	⑧廃油(有害)	⑨廃油(有害)
②計画	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量（今後実施する予定の取組） ・予定なし									
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項									
【前年度（令和元年度）実績】									
特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②引火性廃油(有害)	③強酸	④強アルカリ	⑤廃酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦汚泥(有害)	⑧廃油(有害)	⑨廃油(有害)
①現状	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
①現状 自ら中間処理に廃棄した特別管理産業廃棄物の量（これまでに実施した取組） ・実施していない。									
【目標】									
特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②引火性廃油(有害)	③強酸	④強アルカリ	⑤廃酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦汚泥(有害)	⑧廃油(有害)	⑨廃油(有害)
②計画	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画 自ら中間処理に廃棄する特別管理産業廃棄物の量（今後実施する予定の取組） ・予定なし									

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度(令和元年度)実績】		①引火性廃油	②引火性廃油(有害)	③強酸	④強アルカリ	⑤廃酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦汚泥(有害)	⑧廃油(有害)
特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

①現状
(これまでに実施した取組)
・実施していない。

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②引火性廃油(有害)	③強酸	④強アルカリ	⑤廃酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦汚泥(有害)	⑧廃油(有害)
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画
(今後実施する予定の取組)
・予定なし

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

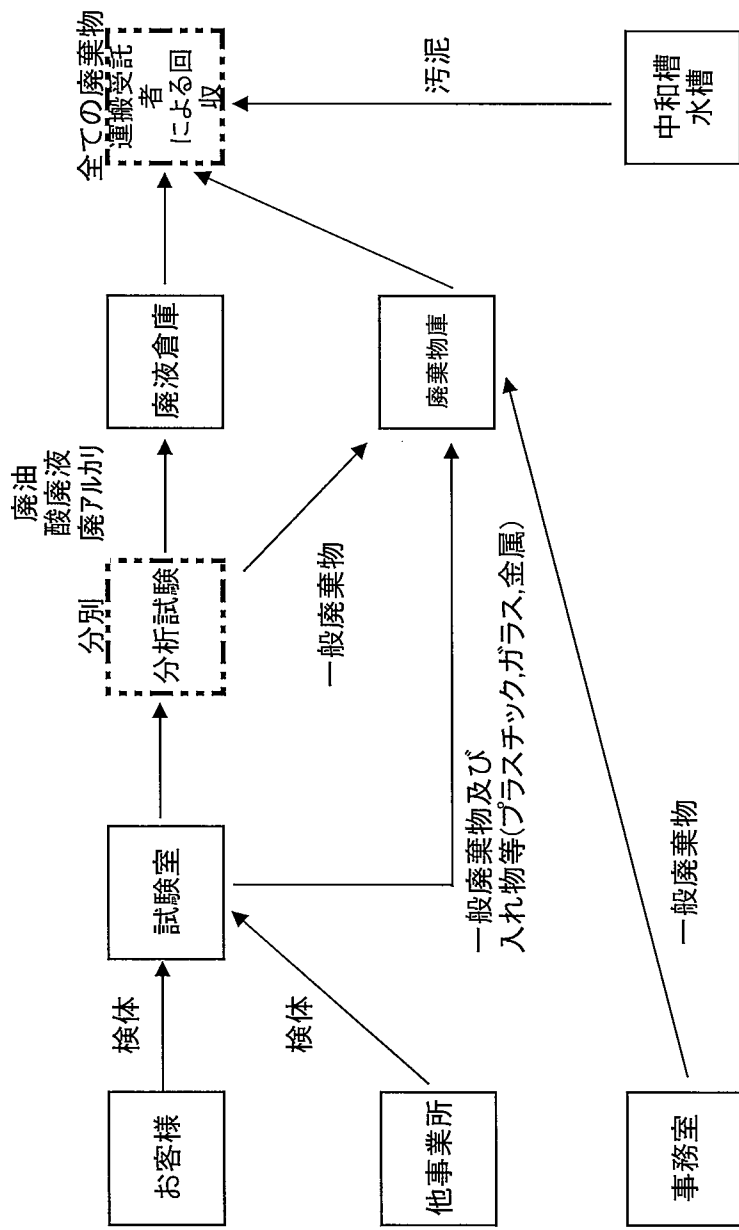
【前年度(令和元年度)実績】		①引火性廃油	②引火性廃油(有害)	③強酸	④強アルカリ	⑤廃酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦汚泥(有害)	⑧廃油(有害)
特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	68.052 t	0.018 t	14.752 t	6.192 t	0.300 t	0.160 t	0.001 t	0.649 t
全処理委託量	68.052 t	68.052 t	0.018 t	14.752 t	6.192 t	0.300 t	0.160 t	0.001 t	0.649 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定焼戻業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定焼戻業者以外の焼戻を行う業者への処理委託量	9.472 t	9.472 t	0.018 t	11.065 t	1.993 t	0.000 t	0.160 t	0.000 t	0.649 t

①現状
(これまでに実施した取組)
・処理業者と適正に契約を結び、連携して廃棄物の減量化を推進している。

【目標】		①引火性廃油	②引火性廃油(有害)	③強酸	④融アルカリ	⑤廃酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦汚泥(有害)	⑧廃油(有害)
④計画	特別管理産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	64,650 t	0.017 t	14,014 t	5,882 t	0.285 t	0.152 t	0.001 t	0.617 t
	優良認定処理業者への処理委託量	64,650 t	0.017 t	14,014 t	5,882 t	0.285 t	0.152 t	0.001 t	0.617 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	8,999 t	0.017 t	10,512 t	1,893 t	0.000 t	0.000 t	0.152 t	0.000 t	0.617 t
(今後実施する予定の取組)									
・引き続き、廃液を減量化できる分析工程を検討していく。									

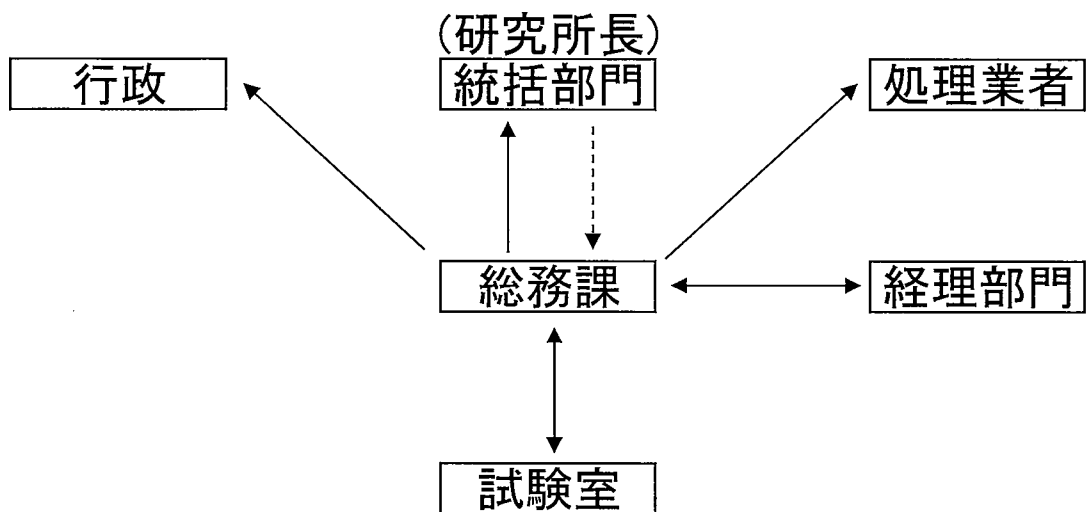
【前年度(令和元年度)実績】	
特別管理産業廃棄物 排出量 (ホリ塩化ビフェニル廃棄物を 除く)	50,000 t
(今後実施する予定の取組等)	
2019年8月19日より、電子マネーフエスタの運用を開始。	
電子情報処理組織の使用 に関する事項	
※事務処理欄	

産業廃棄物発生工程フローシート/処理工程フローシート



* 感染性廃棄物は試験室より直接運搬受託業者へ

〔社内組織図〕



- ▶ 報告
- - - - -▶ 指示
- ◀———— 相互連絡

[各部署の役割]

統括部門	ゴミ減量化の指示・命令 社内産廃減量化体制 社内での産廃適正管理,減量化に関する啓発
総務課	産廃の発生から処分に至るまでの帳簿等作成 産廃の種類ごとの発生量,排出量及び性状等のチェック,集計 委託業者の処理施設の定期的査察 行政に対する報告等 委託処理業者との契約書・許可証・マニフェスト管理 試験室間の調整及び指示 産廃処理計画の策定及びその実施 試験室からの意見・案の取りまとめ 上記内容を統括部門に報告
試験室	処理工程の開発 産業廃棄物減量化手法の研究 上記内容を総務課に報告
経理部門	産業廃棄物の適正処理費用の算出 委託料金の管理 上記内容を総務課に報告

北

正門

停車場

停車場

停車場

廢棄物庫

危險物庫
廢液倉庫

研究棟

通用口